



五 和

上野原西小学校 学校だより 文責 森 卓弥
令和 7 年 11 月 26 日 No. 7 TEL 6 6 - 3 9 2 2

学校教育目標

- よく考える子
- 自他を尊重し思いやりのある子
- ねばり強い子
- 心身ともに健康な子

1・2年生 生活科 秋の遠足！



11月6日(木)、生活科の学習の一環として、子どもたちは忍野村にある「富士湧水の里水族館」「森の学習館」「絵手紙館」を訪れました。今回の校外学習では、具体的な活動や体験を通して、自分自身や人々との関わり、社会、自然への関心を深めることを目的としています。水族館では、さまざまな淡水魚について説明を聞き、マスの仲間が冷たい水で暮らす様子を水槽に触れながら体感しました。子どもたちは普段目にしない生き物に興味津々で、解説にも熱心に耳を傾けていました。続いて訪れた森の学習館では、富士北麓に生息する野生動物の剥製に触れたり、樹木の実や種などの展示を見たりして、自然への理解を深めました。解説員の方から、熊は本来臆病な動物であることや、近年見られる異常行動についても学び、貴重な学びとなりました。最後に訪れた絵手紙館では、講師の指導を受けながら唐辛子の絵を描き、色や形をよく観察して個性豊かな作品を仕上げました。今回の校外学習を通して、自然や生き物、社会の変化など、多くの発見と学びを得ることができました。



福祉講話！

10月23日(木)、3・4年生を対象に「福祉講話集会」が行われました。視覚障害のある方を講師にお招きし、ご自身のことや盲導犬に関するお話を伺いました。講師の方からは、西小の子どもたちに向けて大切にしてほしい3つのこととして、「命を大切にしてほしい」「思いやりの気持ちを持ってほしい」「継続は力なり」というお話をしてくださりました。子どもたちは、講師の方の言葉に真剣に耳を傾け、福祉や思いやりについて考える貴重な時間となりました。



どんぐりごま名人から学ぶ！



11月12日(水)1年生は生活科の学習で、どんぐりを使った独楽を地域の方に教えていただきながら制作しました。地域の名人の方々から直接コツを教えていただきながら、子ども達は、今までよりも仕上がりの良い独楽に色を塗りながら楽しんでいました。



6年生 VF 甲府 マンシャ選手から学ぶ

11月13日(木)に「未来への架け橋～先達の生き方に触れることを通して、今後の生き方について考えよう～」というテーマでVF甲府に所属しているディフェンダー：エドゥアルドマンシャ選手をお招きして、夢を持ち続けることの大切さや、家族を大切にすること、身体を鍛えること、そして失敗してもその経験を次に生かし、新たなチャレンジを続けていくことで成功への道が開けるというお話を伺いました。また、マンシャ選手の身体の強さを実感できるように、体を使った体験も行いました。

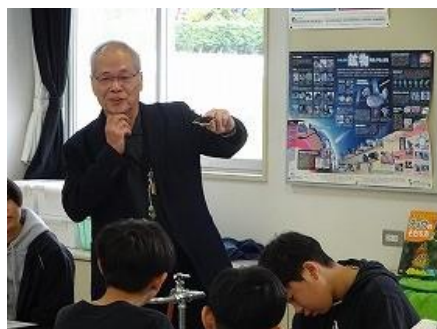


最後にマンシャ選手から子ども達にむけてメッセージをいただきました。「大切なのは諦めないこと。時には挫折することもあるかもしれませんが、乗り越えていくことが大事なことです。自分自身を信じて、夢を持ち続け、努力することも重要です。うまくいかなかった時はなぜうまくいかなかったかを考え、夢を信じて諦めないことが大切です。自分がこうしてプロとしてやっていったのは、NOと言われても諦めずに努力し続けたことだと思う。昨日の自分よりも成長することを大切にしてほしい。」ということでした。

学校開放日！



10月31日(金)に学校開放日を行いました。当日は、多くの保護者の方やおじいちゃん・おばあちゃん、地域の方に参加していただきました。2校時から4校時までを開放し、子どもたちの様子を



参観していただきました。6年生はコモア在住の講師の方から、生きたキベリタデハを見せていただいたり、1年生はコモアシニアクラブの方々が子供の頃の遊びを、本校の子ども達と一緒に楽しんだりしました。皆様方には、お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。

芸術鑑賞教室！



11月5日(水)にボリビアの民族音楽に触れる時間がありました。演奏してくださったのは、5人組グループ「クルス・デル・スール」の皆さんです。登場と同時に会場は、南米の明るいリズムが鳴り響きました。子ども達が楽しめるように、



演奏や楽器の紹介、民族衣装の説明、楽器にまつわるクイズなどがありました。最後に、先生方と児童全員で手や足を動かしてリズムに合わせる場面もあり、あっという間の60分間でした。